

Q：どこに照射するの？

A：のどにある星状神経節という

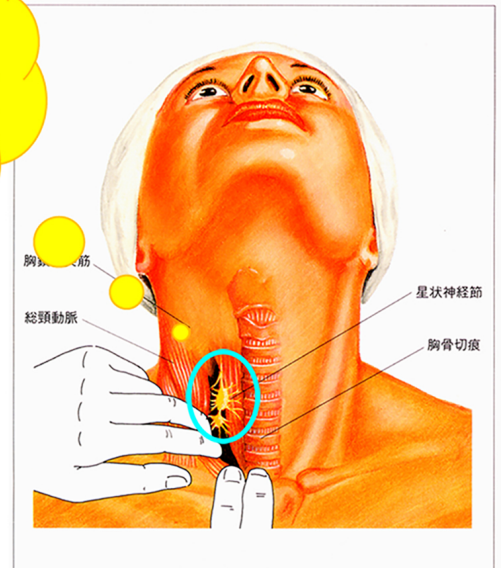
交感神経の集まったところに当てます。



神経のツボ



星状神経節照射風景



Q：そこにあてると何がいいの？

A：人はストレスを受けると、自律神経の中の交感神経が興奮し血管を縮めます。

血管が縮まると、酸素や栄養素を運ぶ血液の流れが悪くなり、交感神経が過緊張を起こし、全身的にさまざまなトラブルを起こします。



その中には、血流循環の低下、ホルモン分泌の乱れ、免疫力の低下や誤作動などがあります。そこで星状神経節に光を照射し、**交感神経の過剰興奮を抑え**、さまざまな病気のおおもとである自律神経のバランスを整えます。



星状神経節照射の適応と思われる疾患

帯状疱疹、頭痛、円形脱毛症、末梢顔面神経麻痺、緑内障、眼精疲労、飛蚊症、アレルギー性鼻炎、花粉症、突発性難聴、メニエール病、耳鳴り、舌痛症、口内炎、上肢血行障害、頸肩腕症候群、外傷性頸部症候群、胸郭出口症候群、肩関節周囲炎、テニス肘、腱鞘炎、肩こり、不眠症、冷え症、自律神経失調症、他

必要に応じて使用させていただきます。

